

# 型名 R-RS232C-920M

# 取扱説明書





# — 目次—

1.	概要 • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• 2
2.	構成と仕様	
	2-1. <u>システム構成</u> ・・・・・・・・・・・・・・	• 2
	2-2. <u>仕様</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3
	2-3. <u>外形寸法図</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	• 4
3.	<u>R-RS232C-920M Tool のインストール</u>	
	3-1. <u>インストールメニューの起動</u> ・・・・・・・・	• 5
	3−2. <u>初期起動</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 8
4.	出力情報の編集	
	4−1. <u>新規作成</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 9
	4-2. <u>出力テキストの編集</u> ・・・・・・・・・・・・	• 10
	4-3. <u>デリミタコードの設定</u> ・・・・・・・・・・	• 11
	4-4. <u>リピート出力設定</u> ・・・・・・・・・・・・・	• 12
5.	<u>出力情報の登録と動作テスト</u>	
	5-1 <u>受信機を設定モードにする</u> ・・・・・・・・・	• 13
	5-2.出力情報の登録 ・・・・・・・・・・・・・・	• 14
	5-3. <u>リモコンの動作テスト</u> ・・・・・・・・・・・	• 15
6.	登録情報の読込み	• 16
7.	通信設定	
		17
	7-2. <u>PC 側の通信設定</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
8.	リモコンの設定・休止・再開・削除・無線 CH 変更	
		• 19
	8-2. リモコンの休止・再開・削除・・・・・・・・	• 20
	8-3. リモコンの無線チャンネル変更・・・・・・・・	• 21
9.		• 22
10.		• 25
11.		• 26

付属品

取扱説明書(本書)	1部
DSUB9 ストレートケーブル	1本

1. 概要

- 本機 R-RS232C-920M は、920MHz 帯無線リモコン受信機として動作し、弊社製 920MHz 帯無線リモコン送信機 との組合せで構成されます。
- R-RS232C-920M は 920MHz 帯無線リモコン送信機の押下キーに対応した無線コードを受信し、事前に登録されたテキストコード(最大 16 バイト)を RS232C の信号として出力されます。 ※出荷時の出力設定を変更する場合は、弊社 Web サイトより "R-RS232C-920M Tool"をダウンロードしイン ストールして下さい。(5 ページ参照)
- 本機は国内電波法取得済の無線モジュールを使用しています。
- 無線モジュールは固有のデバイス ID(4 バイト)が実装され本受信機に登録して使用しますので、誤動作を 起こす心配はありません。
- 無線到達距離は見通し約 200m です。(使用環境により減少する場合があります。)
   ※920MHz 帯無線リモコン送信機はお使いのシステムに合わせてキー数を選んで別途ご購入下さい。

## 2. 構成と仕様

2-1. システム構成



[920MHz帯無線リモコン送信機]

#### 送信機・受信機の対応無線チャンネル(出荷時は33ch)

チャンネル	中心周波数(MHz)	チャンネル	中心周波数(MHz)	チャンネル	中心周波数(MHz)
24 (24~25)	920.7	29 (29~30)	921.7	35 (35~36)	922.9
25 (25~26)	920.9	30 (30~31)	921.9	36 (36~37)	923.1
26 (26~27)	921.1	31 (31~32)	922.1	37 (37~38)	923.3
27 (27~28)	921.3	33 (33~34)	922.5		
28 (28~29)	921.5	34 (34~35)	922.7		

2-2. 仕様

■使用無線モジュール	NEC 製 H001-000013-005
■使用周波数	920MHz 帯(920.7MHz~923.3MHz)
■無線通信距離	見通し約 200m
■アンテナ	無線モジュールに内蔵 (送信出力:最大 20mW)
■無線通信方式	独自プロトコル通信
■無線通信速度	最大 100kbps
■制御	マイクロコンピュータ制御(STM32F103CBT7)
■出力	RS232C 信号(DSUB9 コネクタ)
■モニタ LED	緑色:点灯時は電源表示、点滅時は設定モード時、赤色:無線動作モニタ
■電源・消費電力	DC12V、1W以下
■周囲温度・湿度	-10℃~+50℃、25~85%RH(結露なきこと)
■外形・重さ	124.3W $\times$ 67.3D $\times$ 35H (mm) $\sim$ 96g

受信機の出力コード

受信機は、送信機より送出された無線信号を受信して、該当するキーに対応して事前に登録されたテキスト コードとデリミタコードをRS232C 信号で出力します。 KeyNo.1 "01"+[CRLF] (30h + 31h + 0Dh + 0Ah) KeyNo.2 "02"+[CRLF] (30h + 32h + 0Dh + 0Ah) | KeyNo.70 "70"+[CRLF] (37h + 30h + 0Dh + 0Ah) テキストコードに制御コード 0x01~0x1F, 0x7F~0x7E 等を含めることも出来ます。 デリミタコードの[CRLF]は設定ツールにてキー毎に「 CRLF、CR、LF、ETX、無」から選択出来ます。 リモコンキーの押下継続に対応したリピート出力設定も行えます。

I/F (RS232C-DSUB9) のピンアサイン



PCとの接続は USB シリアル変換ケーブル (ストレート仕様)



## 3. R-RS232C-920M Tool のインストール

3-1. インストールメニューの起動

設定ツールは弊社 Web サイト(<u>https://www.daisendenshi.com/download/</u>)より "**R-RS232C-920M Tool**"をダウン ロードして下さい。ダウンロードしたファイルを解凍し "ddkSetupMenu.exe"を実行しますと、インストールメ ニューが表示されます。

弊社販売(別売)の RS232C 通信用 USB シリアル変換ケーブルをご使用の場合は「Driver Install」ボタンをクリ ックしてドライバのインストールを先に行って下さい。

① 本受信機 R-RS232C-920M 用の設定ツールのインストールは「App. Install」ボタンをクリックします。

DAISEN App	licaton Install Menu	株式会社タイセン電子工業 DAISEN
USB Driver Prolific社製 USBシリアル参 既にインストール済み、また	変換ケーブルをご使用の場合はインストール出来ます。 には他のケーブルを使用する場合インストールの必要はありません。	Driver Install
R-RS232C-920M Tool	本アプリケーションのインストールを実行します。 既にインスト ールされている場合は、コントロールバネルからプログラムのア ンインストールを実行して下さい。	App. Install
	本アプリケーションのドキュメントファイル(PDF)が収納されてい るフォルダーを表示します。	Documents
		閉じる

② インストールウィザードが起動しましたら「次へ」のボタンをクリックします。



③ デスクトップ上にショートカットを作成したくない場合はチェックを外して下さい。

DAISEN R-RS232C-920M Tool V210810		×
<b>⊐ピー準備の完了</b> 以下の指定でインストールを実行します。		
インストール元自己解凍実行ファイル: C:¥SharedDocs¥01_ddkSetups¥R-RS2: インストール先フォルダ: C:¥Daisen¥R-RS232C-920M V2108104	32C for STD¥R-RS232¥Setup.exe ¥	
☑デスクトップ上にショートカットを作成する([	2)	
コピーを開始する(zは、D欠へ]をクリックしてくだ	さい。	
EXEpress 6	< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) >	キャンセル

④ 「次へ」のボタンをクリックしますとインストールが開始されます。

VI DAISEN R-RS232C-920M Tool V210810			×
<b>インストール中</b> ファイルのコピーやその他の処理を行っています。			
<ul> <li>✓ ファイルをコピー中</li> <li>✓ アンインストール情報登録中</li> <li>✓ ショートカット登録中</li> <li>✓ ショートカット登録中</li> <li>C:¥Daisen¥R-RS232C-920M V210810¥R-RS2320</li> </ul>	C-920M Tool.ini		
EXEpress 6	< 戻る( <u>B</u> )	次へ( <u>N</u> ) >	キャンセル

SAISEN R-RS232C-920M Too	ol V210810		×
	インストールの完了		
	インストールが完了しました。		
EXEpress 6	< 戻る( <u>B</u> )	完了	キャンセル

#### ⑥インストールメニュー画面に戻ります。

USB Driver Prolific社製 USBシリアル3 既にインストール済み、また	変換ケーブルをご使用の場合はインストール出来ます。 当ま他のケーブルを使用する場合インストールの必要はありません。	Driver Install
R-RS232C-920M Tool		
	本アプリケーションのインストールを実行します。 既にインスト ールされている場合は、コントロールパネルからプログラムのア ンインストールを実行して下さい。	App. Install
-	本アプリケーションのドキュメントファイル(PDF)が収納されてい るフォルダーを表示します。	Documents

PCのデスクトップに "R-RS232C-920M Tool V210810"のショートカットが作成されます。

またスタートメニューには「ddkApplications」の項目とその配下に "R-RS232C-920M Tool V210810"のショートカットが作成されます。

本書の取扱説明書は、「Documents」ボタンをクリックすると収納されているフォルダを表示します。 最後に「閉じる」ボタンでインストールメニューは終了します。

#### 3-2. 初期起動



- ① R-RS232C-920M に電源を供給してシリアル通信ケーブルを PC と接続します。
- ② PC のデスクトップにあるショートカット "R-RS232C-920M Tool V210810" または、スタートメニューの 「ddkApplications」から "R-RS232C-920M Tool V210810" を選択して本アプリケーションを起動します。
- ③ PC と R-RS232C-920M とがシリアルケーブルで正常に接続していれば自動で COM ポートを探し出し「接続中」 の表示になります。(正常に接続出来ていない場合は、「接続」の表示となります。)

「KeyNo.」はリモコン送信機の押下キー番号に対応します。

- 「Tx Code」は **R-RS232C-920M**から出力されるテキストコードです。
- 「Delimit」はテキストコード出力時の終端コードとして付加されるデリミタコードです。
- 「Repeat」はリモコンキーの押下が継続された場合に繰り返し出力するか否かを示します。
- 「Comments」は出力コードのコメントとして活用して下さい。無くても動作には影響ありません。

# 4. 出力情報の編集

## 4-1. 新規作成

🙋 DAI	5EN R-R5232C-920M 1	Fool [ 🐪					- 7			
ファイル (	File)		DAIS	EN R-RS23	2C-920M Tool	Ver.21081	.0 ]			
新	規作成 ( <u>N</u> ew)		ファイル (F	ile)						
開	< ( <u>O</u> pen)		接続□	Þ						
保	存 ( <u>S</u> ave)		KeyNo.	Tx Code		Delimit	Repeat	Comments	;	~
設	定モード (Setup <u>M</u> ode)		1			_				
通	信設定 ( <u>C</u> omPort)		2			Create	Now	x		
77	ー人ウェア更新 (Lindate)		3			Creater	o is Corial I	number		-
	Z (0. iv)	- 1	5			V COU		lumber		
於	ʃ ( <u>Q</u> uit)	_	6		*	Max o	f Keys: 7	0 🕶		
,			7				Create			
			8							_
			9							- 1
😂 DAI	5EN R-R5232C-920M 1	Fool [Ve	er.21081	10]		- 0	x c			~
ファイル (	File)								L og Clea	
接結	ich in the second se								Log old	
150076										
KeyNo.	Tx Code	]	Delimit	Repeat	Comments		-			
2	02			-						
3	03	Ċ	CRLF	-						
4	04	(	CRLF	-						
5	05	(	CRLF	-						
6	06	(	CRLF	-						-
7	07	(		-					)	•
8	08	(		-						111
10	10	(		-						
11	11			-			<b>~</b>	システムメ	ニューの新規	作成
						Log Clea	ar	を選択する	と新規作成条	伴の
								ダイアログォ	が表示されま	す。
								"□ Code i	s Serial nur	nber"
							(	こチェックる	を付けると Tx	xCode
							ħ	闌に KeyNo.	を付加します	-
								"Max of Ke	ys"のプルタ	゙゙ウン
								メニューで	リモコンのキ	-—数
								を選択しま	す。日的のキ	~ ——数
							-	<u>- ~ , ~ , ~ , ~ , ~ , ~ , ~ , ~ , ~ , ~ </u>		∽1 ~
1								バーユ -1 10 キズのキ	~ 赤い 物口は	、 · · · ·
COM6:O	к				-		111	いまじのキ	一奴で但按人	いし
								<b>しいらい</b> 。		

#### 4-2. 出力テキストの編集

😂 DAISEN R-R5232C-920M Tool [Ver.210810] — 🗆 🗙									
ファイル (File)									
接続中									
KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments	^				
1	01	CRLF	-						
2	ABCD¥x0D¥x0A1234	CRLF	-						
3	5678	CRLF	-						
4	04	CRLF	-						
5	05	CRLF	-						
6	06	CRLF	-						
7	07	CRLF	-						
8	08	CRLF	-						
9	09	CRLF	-						
10	10	CRLF	-						
11	11	CRIF	-		×				
					Log Clear				
					<b></b>				
					-				
COM6:O	K			-	11.				

「Tx Code」欄にはリモコン押下時に出力されるテキストを入力します。空白を含む半角 16 文字までが有効文字 列となります。

空白(0x20)以下の制御コードを編集する場合は、"0x"または"¥x"に続けて2桁の制御コードを入力します。

例: "ABCD" + CRLF + "1234" の場合は、"ABCD¥x0D¥x0A1234" と入力して下さい。

""は説明の為に表記しましたので実際の入力に必要ありません。

「Tx Code」コードを出力したくない場合は Del キーで消去して下さい。

※ご注意 Space キーで文字を消した場合は空白文字が出力されます。

## 4-3. デリミタコードの設定

🥌 DAISEN R-R5232C-920M Tool [Ver.210810] — 🗆 🗙										
ファイル (File)										
接続	接続中									
KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments	^					
1	01	CRLF	-							
2	ABCD¥x0D¥x0A1234	CRLF	-							
3	5678	CRLF	-							
4	04	CRLF		X						
5	05	CRLF	Delimite	r Setting						
6	06	CRLF	CRLF	:						
7	07	CRLF	O CR							
8	08	CRLF	○ LF							
9	09	CRLF	• ETX							
10	10	CRLF	O None	e						
11	11	CRLE	This	K-11	×					
			Ins	кеу	Log Clear					
<u> </u>			All Key							
4					P					
COM6:OI	K				li					

- 変更したい KeyNo. 行の Delimit の項目にカーソルを合わせ右クリックすると、デリミタ設定のダイアログが 表示されます。
- ② 該当するデリミタのラジオボタンをクリックして選択します。
- ③ 選択行だけ設定する場合は「This Key」のボタンを、選択行以下全てを設定する場合は「All Key」ボタンを クリックします。

※デリミタの ETX を選択した場合は、出力する TxCode の先頭に STX (0x02) が付加されます。

#### 4-4. リピート出力設定

接続	Þ				
(eyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments	
1	01	CRLF	-		
2	ABCD¥x0D¥x0A1234	CRLF	-		
3	5678	ETX	-		
4	04	CRLF	-	X	
5	05	CRLF	-	Repeat Setting	
6	06	CRLF	-	Key Repeat	
7	07	CRLF	-		
8	08	CRLF	-	This Key	
9	09	CRLF	-	All Key	
10	10	CRLF	-		
11	11	CRLE	-		
				Log Clea	ar
					4

- 変更したい KeyNo. 行の Repeat 項目にカーソルを合わせ右クリックするとリピート設定のダイアログが表示 されます。
- ② リモコンキーの押し続けで繰返し TxCode を出力したい場合は"口 Key Repeat"にチェック付けます。
- ③ 選択行だけ設定する場合は「This Key」のボタンを、選択行以下全てを設定する場合は「All Key」ボタンを クリックします。

#### ※ご注意

これまでの TxCode 編集、Delimit 設定、Repeat 設定は PC 側の変更作業で、R-RS232C-920M への変更は次頁の登録作業によって受信機に反映されます。

また編集されたデータは保存の有無に関わらずローカルファイルとして自動保存され本ツール起動時に毎回読 込まれ表示されますが、重要な編集データは忘れずに PC へ保存しておいて下さい。

ファイルの保存は、システムメニューの「ファイル」をクリックして「保存」を選択します。

保存されたファイルは同じくシステムメニューの「ファイル」の「開く」で再現できます。

#### 5-1.受信機を設定モードにする

#### 🧭 DAISEN R-RS232C-920M Tool [ Ver.210810 ] ファイル (File) 新規作成 (New) 開く(Open) limit Re 保存 (Save) **LF** -設定モード (Setup <u>M</u>ode) ₹LF \_ х Re 通信設定 (ComPort) **LLF** ファームウェア更新 (Update) **LF** RLE 終了 (Quit) --RLF -/ 0/

編集した出力情報を登録するには、システムメニューから「設 定モード」を選択して受信機の R-RS2320-920M を設定モードに する必要があります。

設定モードになると、以下の操作が行えます。

「登録」は出力情報を登録する場合

「読込」は受信機に登録されている出力情報を読込む場合

「通信設定」は受信機の通信設定を変更する場合

「オプションメニュー」はリモコン送信機の設定管理する場合

130026	<b>Þ</b>			録 読込	通信設定
KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments	^
1	01	CRLF	-		
2	ABCD¥x0D¥x0A1234	CRLF	-		
3	5678	ETX	Rep		
4	04	CRLF	-		
5	05	CRLF	-		
6	06	CRLF	-		
7	07	CRLF	-		
8	08	CRLF	-		
9	09	CRLF	-		
10	10	CRLF	-		
11	11	CRLE	-		×
					Log Clear
R-RS23	2C-920M Ver.210810 Bp	s:115200	,P_NONE,	S1,RTS_OFF	

## 5-2. 出力情報の登録

😂 DAISEN R	-R5232C-920M Tool [	Ver.2108	10]				① システムメニューの「設定
ファイル (File)	オプション (Option)						モードレを選択して受信機の
接続中			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	録 読込	通信影	設定	モード」を選択して受信機の R-RS232C-920M を設定モード
KevNo. Tx	Code	Delimit	Repeat	Comments			にして「登録」ボタンをクリ
1 01	0000	CRLF	/-	connento			ックします.
2 AB	CD¥x0D¥x0A1234	CRLF	- /				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3 567	78	ETX	Rep				◎ Tuo da 광용 분 / 코ᄆ 부조
4 04		CRLF	-				② IXCODE 登録ダイアロクで
5 05		CRLF	-				「Start」ボタンをクリックし
6 06	,	CRLF	-			- 1	ますと登録が開始されます。
7 U7 8 08	Write TxCode	1012	-	>	×		
00 0 00 0						_	③ 登録完了の確認ダイアログ
10 10	Tx Code を登録	します。					が表示され「OK」ボタンをク
11 11	Start			Cancel		<b>~</b>	リックレキオと設定モードは
					Log Cle	ar	
D_D\$2220_1	020W Var 210010 Pm	c·\1520		01 DT0 OFF	Log cic		終」となります。
K-K02020-3	azow Aet•sinoin bb		J.P. NUNE.		Ver 21081	01	- n x
					[ VCI.21001	.01	
		77170	File) AJS	37 (Option)			
		接続	<b>中</b>				登録 読込 通信設定
		KevNo.	Tx Code		Delimit	Repe	at Comments
		1	01		CRLF	-	
		2	ABCD¥x00	)¥x0A1234	CRLF	-	
		3	5678		ETX	Rep	
4		4	04		CRLF	-	
COM6:OK		5	05		CRLF	-	
		6	06		CRLF	-	
		7	07	12237		-	×
<ol> <li>3) 設定モー</li> </ol>	・ドが終了しますと	8	08				
ਁ ੑੑਫ਼ਖ਼ੑਗ਼ੑੑੵੵ	い「海信設守」	10	10		登録完了!		
ᆞᇁᄣᅬᆞᇌ ᅐᆣᅚᆮᆺᅶ		11	11		Oł	<b>(</b>	· ·
ルホタンおる							
メニュー」カ	が非表示となり	No.co	//00// NLV	0.050-0			Log Clear
動作テストカ	が行える通常の	KC:60,	60 ,DLM: 61″,DLM:	:0,REP:0 :0,REP:0			<b>A</b>
モードに戻り	ります。	KC:62,	"62",DLM:	0,REP:0			
		KC:63,	″64″,DLM:	0,REP:0			
		KC:65,	″65″,DLM: ″66″,DLM:	0,REP:0			
		KC:67,	"67",DLM:	0,REP:0			
		KC:68,	°68°,DLM∶ ″69″.DLM∶	:U,REP:O :O,REP:O			
		KC:70,	″70″,ĎĽM:	O,REP:O			=
							-
		COM6:O	К				

14

#### 5-3. リモコンの動作テスト

動作テストにはリモコン送信機が必要となりますが、受信機の R-RS2320-920M とリモコン送信機を同時購入された場合は、弊社で予めリモコン登録を行っていますので、このまま動作テストが行えます。

リモコンを別途購入または、追加購入された場合は、「8-1. リモコンの設定」を参照して行って下さい。

🧭 DAISEN R-R5232C-920M Tool [ Ver.210810 ] - 🗆 🗙							
ファイル (File)							
接続中							
KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments		^	
1	01	CRLF	-				
2	ABCD¥x0D¥x0A1234	CRLF	-				
3	5678	ETX	Rep				
4	04	CRLF	-				
5	05	CRLF	-				
6	06	CRLF	-				
7	07	CRLF	-				
8	08	CRLF	-				
9	09	CRLF	-				
10	10	CRLF	-				
11	11	CRLE	-			Ľ.	
					Log Clear		
01 ABCD 1234 02h 5678 03h 02h 5678 03h 02h 5678 03h 02h 5678 03h 02h 5678 03h 02h 5678 03h 04 05							
1					Þ		
COM6:Ok	<			-		14	

本ツールの通常状態で接続ボ タンが「接続中」の表示になっ ている場合はリモコンの受信 が可能となっています。

画面例では、リモコンキーの KeyNo.1 から KeyNo.6 までを 順次押しますと前項で登録し た内容で通信ログ欄に表示さ れています。

KeyNo.2は "ABCD"の後、改行 され続いて "1234"と出力され ています。

KeyNo.3は、デリミタコードが ETX の為、TxCode の"5678"の 前後に STX,ETX が付加され Rep 設定の為、連続して表示さ れいます。

本ツールの通信設定で受信デリミタが CRLF の設定(出荷設定)になっている場合は通信ログには CRLF の表示は 省かれ改行されて表示します。

また STX (0x02) や ETX (0x03) はテキストに変換され表示します。デリミタが CRLF で無いのに改行されるのは通信 設定で受信タイムアウト値を 50mS にしているからです。標準のリモコン送信機は、キーを押し続けた場合 無線信号は約 100mS 間隔で送信されていますので受信タイムアウト値をそれ以下に設定していると改行処理が行 われます。

※ツール側の通信設定の説明は、「7-2. PC 側の通信設定」を参照して下さい。

# 6.登録情報の読込み

DAISEN R-RS232C-920M Tool [	Ver.2108	810 ]				1	システムメニ	ニューの「設定
ファイル (File) オフション (Option)				2		ŧ-	・ド」を選択	して受信機の
接続中		登録 /	読込	通信設	定	R-RS	S232C-920M	を設定モード
KeyNo. Tx Code	Delimit	t Repeat Comme	nts		~	にし	、て「 <mark>読込</mark> 」	ボタンをクリ
1						ック	します。	
2								
3					- 1	(2)	TyCode 誌:	λダイアログで
4					- 1	Гс.	ixeede 記念	シネクリックト
5						- JI + -+	Lail」 小グ、 - L.=±いユン(88	シをクリックし
7						より	と読込か所	」始されまり。
8 Read TxCode			×			~ ~		
9 Tx Code 友德认	<b>*</b> ≢4.					3	読込完了の	確認ダイアログ
10	0.0.20	Consul		L		が表	示され「OK	」ボタンをクリ
Start	Į	Cancel				ック	しますと討	<b>设定モードは</b> 終
				Log Clea	ar	了と	:なります。	
R-RS232C-920M Ver.210810 Bp	s:11520	0.P NONE.S1.RTS O	FF					
	S DAIS	5EN R-R5232C-920M 1	۲ <mark>οοl [</mark> ۱	/er.21081	0]			
	ファイル(	File) オプション (Optio	n)					
	接结	ith 1				容親	詰込	通信設定
	130020					₩.9K		
	KeyNo.	. Tx Code		Delimit	Repea	t Co	omments	^
	1		4	CRLF	-			
	2	ABCD#X0D#X0A123	4	ETY	Ren			
4	4	04		CRLF	-			
COM6:OK	5	05		CRLF	-			
	6	06		CRLF	-			
	7	07		CDIE	-	~		
	8	08	<u>曜</u> 辺			×		
(4) 設定モートが終了しますと	9	09	読	込完了!				
「登録」「読込」「通信設定」	10	10		OK				
のボタンおよび「オプション								
メニュー」が非表示となり								Log Clear
動作テストが行える通常の	KC:60,	,"60",DLM:0,REP:0						-
モードに戻ります。	KC:62	, 62″,DLM:0,REP:0						
	KC:63	,"63",DLM:0,REP:0 ,"64",DLM:0,REP:0						
	KC:65	,"65",DLM:0,REP:0						
	KC:67	, 67", DLM:0, REP:0						
	KC:68	,"68",DLM:0,REP:0 ,"69",DLM:0.REP:0						
	KC:70	,″70″,DLM:0,REP:0						=
								•
	COM6:O	K						14

14

7. 通信設定

#### 7-1. R-RS232C-920Mの通信設定



#### 7-2. PC 側の通信設定

😂 DAISEN R-RS232C-920M Tool [ Ve	r.21081	.0 ]
ファイル (File)		
新規作成 ( <u>N</u> ew)	1	
開く ( <u>O</u> pen)		
保存 (Save)	limit	Re
	- REE	-
設定モード (Setup <u>M</u> ode)	<b>l</b> LF	-
通信設定 ( <u>C</u> omPort)	Х	Re
	<b>l</b> LF	-
「アームワエア更新 ( <u>O</u> pdate)	L LE	-
終了 ( <u>Q</u> uit)	<b>tLF</b>	-
-/ U/	-RLF	-

**R-RS232C-920M**の通信設定が正常に終了すると PC 側の通信設定 も自動的に変更されます。

画面の例は、正常に通信設定が変更されたかの確認画面です。 通信速度が19200bps に変更されていることが確認できます。 この場合は「キャンセル」ボタンでダイアログを閉じます。

TAIS	EN R-R5232C-920M Too	ol [Ver.21081	0]		- 🗆 X
ファイル (F	File)				
接続	E				
KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments	^
1	01	CRLF	-		
2	ABCD¥x0D¥x0A1234	CRLF	-		
3	5678	ETX	Rep		
4	通信パラメータの設定				× —
6	通信パラメータ		送信条	件	
7	接続ポート 🖸	M6 🔻	<u>م</u> ين	:- 無し	<b>-</b>
8	通信速度 19	200 🔻	デリミ	タ CRLF	<b>-</b>
10	/ パリティ NC	NE 🔻		·(4	
11	ストップビット 1	•	デリミ	点 CRLF	▼
	RTS Control		91L	⊾. ג7יל לי⊽ג	mS Clear
R-RS23 R-RS23 R-RS23			ig:	<u>ک</u> ا	2/
R-RS23	20-3200 001-210010				_
2					
COMOO					
COMB:OF	r -				14

もし PC 側が自動で変更されなかった場合はシステムメニューの通信設定で該当する通信パラメータを変更して 「設定」ボタンをクリックします。

送信条件と受信条件は受信機に合わせて変更する必要はありません。

## 8. リモコンの設定・休止・再開・削除・無線 CH 変更

#### 8-1. リモコンの設定



 システムメニューの「設定 モード」を選択して受信機の R-RS232C-920Mを設定モード にします。

 システムメニューに「オプ ション」のメニューが追加表 示されますので、クリックし て「リモコン設定」を選択し ます。

 ③ 受信機の R-RS232C-920M と リモコン送信機を同時に購入 された場合は、この画面に購 入されたリモコンの DeviceID の一覧が表示されます。

④ リモコンを追加で購入された場合、または単品で購入された場合は、ユーザー自身で リモコンの追加設定する必要があります。

⑤ 「Pairing」ボタンをクリックしますと、リモコンの設定(受信機とのペアリング)のダイアログが表示されます。

⑥ リモコン送信機の任意のボタンを押しますと Device ID の一覧に追加された ID が表示されます。

⑦ 設定したいリモコンが複数台あれば順次リモコンキーを押してペアリング設定をしていきます。

⑧ 最後に「Close」ボタンをクリックしてダイアログを閉じて、更に Device ID 一覧ダイアログの「Close」を クリックして元の画面に戻ると、リモコンの動作テストが行えます。

※「Comments」欄は各リモコン送信機のメモとして活用して下さい。PC 側には自動で保存されますが受信機への登録はされません。

## 8-2. リモコンの休止・再開・削除

🧭 DAIS	EN R-RS	5232C-920M	1 Tool [ \	Ver.2108	10]					-	ο×
ファイル (	ファイル (File) オプション (Option)										
接続	Jモコン設定 (RemSetup)     登録     読込										
KeyNo.	KeyNo. Tx Code Delimit Repeat Comments										
1	01			CRLF	-						- 11
2	02			CRLF	Ŧ						_
3	00	<i>c</i> .		CDUE						~	
4	Remoc	on Setup								~	
5	R-R5	S232C-920	M DevI	D: 9980	)-02F(	2					
6	Deli		22	leh =	DEah	Char		(	Clas		- 1
7	Pall	ring	33	scn 👻	RECN	Char	ige		CIO	se	- 1
8	RNo.	Condition	Device	ID R	ch		Com	ments		^	- 1
9	1	$\bigcirc$	4B80-0	286	33						- 1
10	2	0		1	x						
	3		DevID	Setting-							
	4		💿 Pau	use							ar
R-RS2	5		🔘 Res	sume							
	6		🔿 Del	lete						_	
	7		_								
	8		S	et						•	
			Para and		×						
			Pause	•							×
			R	no:1 De	vID:4	<b>B80</b> -	0286	を休止	こしま	す。	Ē
COM6:OI	ĸ			OK					Cance	el 🛛	

 「8-1. リモコンの設定」と 同様の手順で「オプション」
 の「リモコン設定」メニュー から「Remocon Setup」ダイ
 アログを表示させます。

 該当する Device ID の表示 行を選択しマウスの右ボタン でクリックします。

 ③「DevID Setting」ダイア ログが表示されますので、 リモコンの休止、再開、削除 の何れかをチェックし 「Set」ボタンをクリックし ますと実行されます。 「Pause」が休止 「Resume」が再開 「Delete」が削除

画面例は、休止扱いの操作手順となります。

休止と再開はリモコン送信機が手元に無く ても変更出来ますが、削除操作を行うと再 設定にはリモコン送信機が必要となります のでご注意下さい。

Remoc	Remocon Setup X								
R-RS232C-920M DevID: 9980-02FC									
Pairing 33ch  RFch Change Close									
RNo.	Condition	Device ID	Rch	Comm	ents	^			
1	休止	4B80-0286	33						
2	0	4B80-0320	33						
3									
4									
5									
6									
7									
8						~			

#### 8-3. リモコンの無線チャンネル変更



 「8-1. リモコンの設定」と 同様の手順で「オプション」
 の「リモコン設定」メニュー から「Remocon Setup」ダイア ログを表示させます。

 2 無線チャンネルのプルダウ ンメニューから該当する無線 チャンネルを選択します。
 その後「RFch Change」ボタン をクリックします。

③「RFch Change」ダイアログ 表示中に変更したい送信機の 任意のキーを押すことで、送 信機の無線チャンネルは変更 されます。

④ チャンネル変更する送信機
 が複数あれば続けて③の操作
 を行います。

×

 ⑤ 最後に「Close」ボタンをクリックして 「RFch Change」ダイアログを閉じると、受 信機の無線チャンネルを変更して操作が完 了します。

R-RS232C-920M DevID: 9980-02FC Pairing 35ch RFch Change Close RNo. Condition Device ID Rch Comments ~ 4880-0286  $\cap$ 35 1 2  $\cap$ 4B80-0320 33 3 4 5 6 7 8

画面例では、一台のみ 35ch に変更しました ので、33ch の送信機は受信機との通信が出 来なくなりました。

残りの送信機も 35ch に変更したい場合は、

②の操作を行い送信機の操作はしないで、一旦受信機を元の 33ch に戻してから、再び②~⑤の操作を残りの送 信機と共に行います。

😂 DAISEN R-RS232C-920M Tool [ Ve	r.21081	0]
ファイル (File)		
新規作成 ( <u>N</u> ew)		
開く ( <u>O</u> pen)		
保存 (Save)	limit	Rep
	- RLF	-
設定モード (Setup <u>M</u> ode)	₹LF	-
通信設定 ( <u>C</u> omPort)	₹LF	-
	<b>LF</b>	-
ノアームウェア更新 (Update)	<b>R</b> LF	-
終了 ( <u>Q</u> uit)	ιLF	-
/ 0/	JLF	-

出荷時のファームウェアバージョンは

"R-RS232C-920M Ver.210810"です。

今後の機能の向上や不具合の改善等でファームウェアを更新 する必要が発生した場合、弊社 Web ダウンロードページから最 新版のファームウェアを入手して更新することが出来ます。 ※ご注意

ファームウェア更新のメニューを選択した時点で通信設定が 初期値の "115200bps, P\_NONE, S1, RTS\_0FF" に戻されます。 更新後は運用時の通信設定に戻して下さい。 (7-1. R-RS2320-920M の通信設定を参照)

🧭 DAISEN R-R5232C-920M Tool [ Ver.210810 ] 🛛 🛛 🗕 🗆 🗙								
ファイル (File)								
接続	<b>Þ</b>							
KeyNo.	Tx Code		Delimit	Repeat	Comments	^		
1	01		CRLF	-				
2	02		CRLF	-				
3	03		CRLF	-				
4	04		CRLF	-				
5	05		CRLF	-				
6	06		CRLF	-				
7	07		CRLF	-				



本ツール: **R-RS232C-920M Tool Ver.210810** をインストールした実行ファイルの配下にあるフォルダ "Hex"内に 出荷時に書き込まれたファームウェアと同じファイルが収納されています。このファイルを例に説明します。

🧭 ファイルを開く				×
ファイルの場所( <u>l</u> ):	Hex		🚽 🕝 🦻 🛤	•
*	名前		更新日時	種類
クイック アクセス	🗹 🗱 R-RS232C-92	0M_V210810.hex	2021/08/10 15:55	HEX ファイル
デスクトップ				
ライブラリ				
PC				
🗳				
ネットワーク				
	4	П		Þ
	ファイル名( <u>N</u> ):	R-RS232C-920M_V210810.hex	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	開<( <u>O</u> )
	ファイルの種類( <u>T</u> ):	Hex File		キャンセル

Firmwaer Update			×
Download	C:¥Daisen¥R-RS232C-920M V210810¥H	Hex¥R-RS232C-920M_V210810hex	File
COM6 115200bps	LastAdrs[0x080	0:7390] ErasePage:029	
Firmwaer Update	Download	×	
Download COM6 115200bps	D¥Da Click the Start button t	o start Downloading.	File
Firmwaer Update			×
Download	C:¥Daisen¥R-RS232C-920M V210810¥H	lex¥R-RS232C-920M_V210810hex	File
COM6 115200bps	0x0800:4CE0 Now Downloadir	۱ <b>۴</b>	

Firmwaer Update	Download X	×
Download C:¥Daisen¥R-RS232C	Completed	C-920M_V210810hex File
COM6 115200bps 0x0800:7390	UK	_

接続	ф —						
KeyNo.	Tx Code	Delimit	Repeat	Comments			
1	01	CRLF	-				
2	02	CRLF	-				
3	03	CRLF	-				
4	04	CRLF	-				
5	05	CRLF	-				
6	06	CRLF	-				
7	07	CRLF	-				
8	08	CRLF	-				
9	09	CRLF	-				
10	10	CRLF	-				
11	11	CRIF	-				
					Log Clear		
R-RS232C-920M Ver.210810							
更新されたバージョンを表示します。							

※ファームウェア更新後または中止した場合は出荷時設定 "115200bps, P\_NONE, S1, RTS\_0FF" に戻りますので、
 運用時の通信設定に戻す作業を忘れずに行って下さい。 (7-1. R-RS232C-920M の通信設定を参照)

## 10. 対応リモコン送信機一覧



920GHz対応品		T48	TS32	TS27	T08	T04	TC04
標準キー数		48	32/16	27/15/9	8/4/2	4	4
÷	動作電圧範囲	DC2.2V~3.3V					
格	動作温度範囲	-10°C~50°C					
	保存温度範囲	-20°C~60°C					
使用電源		単3乾電池 2本	単4乾電池 2本	単3乾電池 2本	単4乾電池 2本		リチウム電池 CR2025
重量(電池含まず)		約80g	約75g	約60g	約45g	約40g	約35g
外形寸法(mm)		62x188x18	60x152x18	45x185x18	34x170x16	35x110x18	45x89x13

※送信機に内蔵されている無線モジュールの仕様は、本機と同一のモジュールです。

## 11. 更新履歴

■REV210303 取説(初期リリース) R-RS232C-920M Tool [ Ver.201209 ] --- PC 側 R-RS232C-920M Ver.201209 ------ 受信機側ファームウェア(基板番号:DDK20045T)

■REV210820 取説

- R-RS232C-920M Tool [ Ver.210810 ] --- PC 側 システムメニューに「設定モード」メニューを追加
- R-RS232C-920M Ver.210810 ----- 受信機側ファームウェア(基板番号:DDK21008Tに変更)

後パネルのモード設定プッシュスイッチを廃止 PC 側アプリに移行



本製品は一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。 人命や危害に直接的、間接的にかかわるシステムや医療機器など、高い安全性が 必要とされる用途にはお使いにならないでください。

本製品の故障・誤動作・不具合によりシステムに発生した付随的障害および、 本製品を用いたことによって生じた損害に対し、当社は一切責任を負いません。 あらかじめご了承ください。

